

○今回は、7/6木に人権擁護委員の方をお招きして実施した「人権集会」での話を載せます。

今日は、人権擁護委員の方にお越しいただき、人権について話をさせていただくのですが、そもそも「**人権**」とは、何でしょうか。

漢字をそのまま訳せば、「人間」としての「権利」ということになりますが、もう少し、具体的に言うと、私は、「**全ての人が生まれながらにして持っている、幸せに暮らす権利**」と言えと思っています。

大事なポイントは、「**大人は持っていて子どもは持っていない**」とか「**勉強が得意な人は持っていて、苦手な人は持っていない**」とかとかではなく、「**全員が等しく持っている**」ということです。

6月に、1年生の皆さんは、「いじめ撲滅集会」という集会を行ったと聞きました。ひじょうに良い取組だと私は思いました。1年生の廊下に掲示されている、皆さんが書いた決意を読ませていただきました。「相手のことを考える」、「相手の立場に立って考える」、「相手の楽しい時間をつぶさない」などの言葉が書かれていました。

一年生一人一人が、いじめについて考え始めているなど思いました。

人の心や体を傷つけ、辛い気持ちにさせる「いじめ」は、**全ての人が持っている幸せに暮らす権利である「人権」を傷つけるとても大きな問題**です。

私は、いじめは、人の心の中で起きるものだから、一人一人が「やめよう」と決意しない限り、なくならないものだと思いますし、**西中の生徒の皆さんの中で、「いじめ」はあってはならないし、許されないという強い思いを持っています。**

今日の集会が、「いじめ」について考え始めた皆さんにとって、さらに、考えを深めたり、決意を強める機会になることを期待しています。

以上が、昨日の人権集会で私が話した内容ですが、人権集会に参加している一年生の皆さんの姿を見て感じたことを少し書かせてください。

まずは、6校時という暑い中でしたが、皆さんの真剣に聞く姿が印象に残りました。また、昨日のあいさつでは、時間の関係もあり、多く取り上げられなかったのですが、皆さんが6月に学年生徒会が企画して行った「いじめ撲滅集会」とその後の取組について、本当に素晴らしいと思っています。残念ながら、撲滅集会そのものは見る事ができなかったのですが、その後、皆さんが書いた決意や友達のいいところをカードに書いた掲示物の内容を見ていじめについて考えるよい集会だったのだなと推測しています。

昨日は、人権集会の中で、人権擁護委員の方から、人権との関わりで、今、ウクライナで起きているロシアの侵攻のことも話されました。国連という組織の専門機関の中に**ユネスコ**という「世界平和を進めるために、世界中の人々が、教育や科学や文化の面で、交流、協力していく」ことを目的に作られた組織があります。そのユネスコ憲章の中に、「戦争は人の心の中で起きるものだから、人の心の中に平和の砦(とりで)を築かなければならない」という有名な言葉があります。私は、いじめ問題を考えるときに、この言葉をいつも思い出します。このユネスコ憲章の「戦争」を「いじめ」に置き換えると、こうなります。

いじめは人の心の中で起きるものだから、人の心の中に平和の砦(とりで)を築かなければならない
一年生の皆さんが、自分も相手も大切に、ともに幸せに暮らすことのできる西中づくりの主役になってほしいと思います。